



XooNlpsチュートリアル システム構築手順と留意事項

理化学研究所
脳科学総合研究センター
神経情報基盤センター
赤澤文彦

流れ

1. XooNlps導入に際して

1. サイトのイメージを明確にする
2. サイトイメージの決定

2. デモ1

1. インストール
 1. XOOPS
 2. XooNlps、アイテムタイプ
2. XooNlps 設定
3. その他の調整

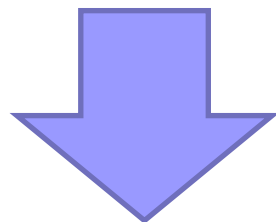
3. デモ2

1. ユーザの登録
2. アイテムの登録
 1. Private Indexの編集
 2. アイテムの登録
3. アイテムの公開
 1. Public Indexの編集
 2. アイテムの公開

XooNips導入に際して:

1. サイトのイメージを明確にする

- どのようなデータベースサイトを構築したいか？
 - どのようなデータを取り扱うか？
 - 誰に対してどのように公開するか？



- XooNipsでどう実現出来るか？

パターン1:プラットフォーム型

■ サイトの目的

- 各研究者が研究資源を持ち寄り一般へ公開する
 - 文献情報、数理モデル、生データなど

■ データの公開レベル

- サイトにアクセスした人がデータを閲覧可能
 - ゲストユーザ
- 各研究者がデータを登録する
 - 登録ユーザ
- 運営者が公開されるデータを管理する
 - システム管理者、モデレータ

パターン2:リポジトリ型

■ サイトの目的

- 自身の研究資源の一般への公開
 - 文献・書籍情報、数理モデル、生データなど

■ データの公開レベル

- サイトにアクセスした人がデータを閲覧可能
 - ゲストユーザ
- 運営者がデータを登録・管理・公開する
 - システム管理者、モデレータ、登録ユーザ

パターン3:グループ型

■ サイトの目的

- グループで研究資源を共有する

- 文献・書籍情報、数理モデル、生データなど

■ データの公開レベル

- グループ参加者のみがデータを登録・閲覧可能

- 登録ユーザ

- グループ代表者がデータを管理する

- グループ管理者

XooNips導入に際して:

2. サイトイメージの決定

- 基本的には、前述の3パターンの組み合わせで実現する。
- ここでは、代表例としてパターン1:プラットフォーム型について具体的な構築手順を紹介

デモ1

1. システム担当者を決める

- UNIX, Linuxに関する知識
 - ファイルの操作
 - Web サーバの設定(推奨)
 - Apache HTTPD, MySQL に関する知識
- XOOPSに関する知識
 - XooNIpsはXOOPSのモジュールとして提供

デモ1: インストール

■ XOOPS

- Web サーバの設定 (apache, php)
- MySQL サーバの設定
- XOOPS のインストール

■ XooNips、アイテムタイプ

- XooNipsモジュールのインストール
- アイテムタイプモジュール群のインストール

デモ1 : XooNipsの設定

- 管理画面上でサイトイメージに合わせた設定を行う
 - ミドルウェアの設定状況の確認
 - ユーザアカウント登録・承認方法
 - 必須入力項目の設定
 - 承認方法の設定
 - アイテム公開時の承認方法

デモ1:その他の調整

■ 見たい目

- XOOPS のテーマの変更
- 表示ブロックの設定

■ 他のモジュールの導入

- ニュースモジュール

デモ2: ユーザの登録

■ 新規にユーザを登録してみる

□ ゲスト

- ユーザ情報の入力
- メールの確認
- アクティベーション

□ モデレータ

- ユーザ承認

□ ゲスト

- ログインする

デモ2: アイテムの登録

■ 登録ユーザ

- Private Index ツリーの編集
- アイテムの登録
- アイテムの閲覧
- アイテムの修正
- アイテムの削除

デモ2: アイテムの公開

- モデレータ
 - Public Index ツリーの編集
- 登録ユーザ
 - アイテムの公開
- モデレータ
 - アイテムの承認
- ゲスト
 - アイテムの閲覧

デモ2: グループ機能の利用

- 運用担当者、研究グループ、小委員会等
- モデレータ
 - グループの作成、グループ管理者指名
- グループ管理者
 - グループメンバーの設定
 - Group Index ツリーの編集
- 登録ユーザ
 - アイテムの共有
- グループ管理者
 - アイテムの承認
- 登録ユーザ
 - 共有アイテムの閲覧